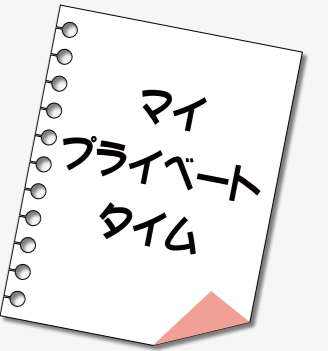


# 切り替えるためのスイッチ

白石市長(宮城県) 風間康静  
Koujo Kazama



## わが郷里

北緯38度線上の宮城県南部に白石は位置しています。仙台市・山形市・福島市の各県庁所在地まで50km圏内という県境の地方都市であり、戦国時代には伊達家重鎮、片倉家が治め、一国一城令の例外を認められた「白石城」を有する城下町がわが故郷です。

## 自宅空間

ちょっとした時間がある場合には、テレビとDVDプレーヤーの前に座っている一刻が、安らぎを得られると同時に気持ちを切り替えることができる時間です。テレビをつけ、何も考えることなく、美しい景色だな、面白いなど、喜怒哀



母校で後輩のけいこを見守る筆者(右)

の時間が、家庭内情報を収集する夫として親としては貴重な刻であると思つていきます。女房との会話は、家族の事だけではなく、さまざまな事においても、女性としての視点に立って話をしてくれますので、時として素晴らしいアイデアをもたらしてくれることがあります。もらえるというより感じ取るといった方が良くもありません。改まって話を聞こうとすると相手も構えてしまいますが、目的が違いますので、気楽な気持ちで話せる雰囲気



白石のPR活動を行う白石戦国武将隊「奥州片倉組」

楽を素直に出し、一人きりの世界の中で、誰に迷惑を掛けることもなく、まったりとした刻を過ごすことが出来ます。観る内容も、市長になる前とは違い、自然や歴史のドキュメント、動物の世界や番組が主流になりました。DVDのソフトが「ちりも積もれば山となる」のように、現在も増え続けています。特に、イライラしている時には、時代劇を見て気持ちを切り替えます。数ある時代劇の中でも、勧善懲悪の中にも人情味があり、江戸時代の暮らしを垣間見ることが出来る「鬼平犯科帳」がお勧めです。極悪人には容赦なく切り捨てるクライマックスは、胸がスツキリとしますし、人間味あふれるストーリーや脚本の歯切れの良さ、さらに出演者の演技の妙には心を奪われてしまいます。鬼平にわが身を重ね合わせ、パト

チャルの世界を楽しみます。この作品は、昨年よりDVD付き定期購読書として商品化されましたので、すぐに申込みをして、現在は一巻ずつ解説書とともに届きます。その届く時期がちょうど良く、楽しみ一つとなっています。しかも鑑賞中に座るソファの空間では、好きな香りの「お香」を焚き、アロマテラピーも欠かせません。時としてうたた寝をしまうこともあります。その時間がまた事後の行動に大きな良き影響を与えてくれています。

良いのだと思います。だから感じ取る、気づく事が必要なのです。ただ一寸食い違ふと喧嘩になりかねませんので要注意です。

また、食事の後、二人でスーパーに行つて、カートを押しながら品定めをするこ

## なぜ成る

どこの市長にもいえることですが、土日・祝祭日にも色々と行事などがあり、なかなか自由な時間を取れないのが定めでしょう。その中で、一日24時間をいかに使うか、自分の時間を確保するかが重要になります。普段の張りつめた弦を緩めることが出来るのがプライベートな時間であり、明日への活力を充電する時間です。弦を緩める方法は、人により違ふでしょうが目的は一緒だと思います。酒

が好きな人は、晩酌や気心の知れた人との飲み会、スポーツ派は得意な種目で汗を流して気分転換を図っていることでしょうか。「市長とは一年365日24時間首長だからな」という人がいます。まさにその通りですが、人間として時には休む時間が必要です。張りつめた精神状態では、よい考えも浮かびませんし、誤った判断をしてしまう可能性があります。結果的に市民に迷惑を掛けることになってしまいます。「健全な精神は、健全な肉



春の白石城

その空間は書斎と言いたいところですが、寝室の約一畳位のスペースで、私にとっては貴重で基地のような場所です。

## 自由時間

休日もほとんど公務がありますが、午後の半日がたまに自由時間になる時があります。そんな時は女房とのドライブを楽しみの一つとしています。遅めの昼食を兼ねたドライブに出掛け、市内・県内はもろろんのことですが、隣の県にまで食べ物を求めに行く時もあります。場当たり的な外出ですので、食事もラーメンなどどこにでもあるものが主流となります。地域によりその味や具材に違いが多くあり、食べ歩きをする人の気持ちがよく解ります。そして、目的地までの車内

に宿る」の言葉が物語っています。

上杉鷹山公の言葉に「なぜ成る 為さねば成らぬなにごとも ならぬは人のなさぬなりけり」という有名な格言があります。「なぜ成る」の句はとても重要であると認識しておりますが、「ならぬは人のなさぬなりけり」がより大切な部分だと考えます。今後も気持ちを切り替えられるプライベートな時間を大切に、「共汗・共学・共生」の精神で、市民とまちづくりを共創してまいります。

プライベートタイムは、「次の行動の大切なエネルギー」ですので、今後はインドアからアウトドアに、自然の中で土と触れ合ったり、またスポーツなどで汗を流せる過ごし方を考えてみよう、この原稿を書いていて、強く思いました。



市民と餅つきを楽しむ筆者